

令和7年地域安全ポスター・標語・青パト活動写真コンクール審査結果

令和7年全国地域安全運動・暴力追放運動「ポスター、標語及び青パト活動写真コンクール」の県審査会が6月12日(木)福島市の杉妻会館で行われ、次のとおり入選者・入選作品が決定しました。同コンクールは、公益財団法人全国防犯協会連合会が全国地域安全運動に向けて主催する全国公募の一環として行われ、ポスター51点、標語904点、青パト活動写真2点の応募をいただきました。

ポスター

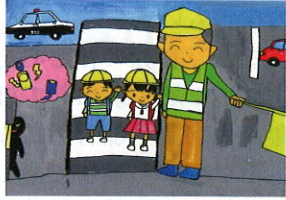
小学生の部

最優秀



小池 翔さん
(棚倉町立 近津小学校2年)

優秀



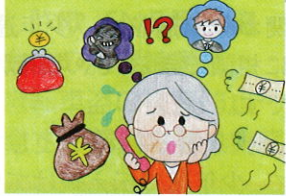
松井 葵さん
(棚倉町立 近津小学校6年)

優秀



山岸 理湖さん
(会津若松市立 行仁小学校5年)

佳作



小笠 瑛菜さん
(棚倉町立 近津小学校2年)

中学生の部

最優秀



小野 愛海さん
(浅川町立 浅川中学校3年)

優秀



緑川 奈瑠美さん
(浅川町立 浅川中学校2年)

佳作



梅宮 百花さん
(須賀川市立 第三中学校2年)

佳作



竹貫 梨乃さん
(浅川町立 浅川中学校2年)

高校生・一般の部

最優秀



大滝 遥叶さん
(工業高等学校1年 福島県立福島)

優秀



堀 勇太さん
(工業高等学校1年 福島県立福島)

佳作



安達 俊介さん
(工業高等学校1年 福島県立福島)

佳作



白坂 鈴菜さん
(工業高等学校1年 福島県立福島)

標語

様々なかたちの防犯ボランティア活動 ～防犯ボランティアの裾野の拡大と活性化を目指して～

小学生の部

最優秀 突然の お金の要求 それは詐欺

優秀 ボランティア えがおとあんしん ありがとう。

優秀 あいさつで きずなをふかめる ちいきのわ

佳作 ダメ絶対 インターネットの やみバイト

佳作 防犯は 皆で見守る 意識から

最優秀 通学路 地域ぐるみで パトロール

優秀 みまもりで 笑顔と未来 ままろうよ

優秀 地域の輪 日々のあいさつ 防犯に

佳作 見守りで 地域の安心 ばくあがり

佳作 見守ろう 子供の安全 守るため

高校生・一般の部

最優秀 常日頃 見守るだけで 防犯に

優秀 犯罪を みんなで防ぐ 地域の輪

武藤 海音さん (会津坂下町立坂下東小学校5年)

星 侑那さん (会津若松市立東山小学校3年)

佐藤 朱莉さん (棚倉町立近津小学校4年)

永樂 陽向さん (喜多方市立第一小学校6年)

小池 新さん (棚倉町立近津小学校6年)

佐藤 愛珠さん (須賀川市立第一中学校2年)

大野 晴日さん (須賀川市立第一中学校2年)

小林莉桜菜さん (須賀川市立第三中学校3年)

廣田 淳人さん (須賀川市立第一中学校1年)

河原菜々穂さん (須賀川市立第一中学校2年)

吉野 琉聖さん (福島県立勿来工業高等学校1年)

齋藤 昌征さん (福島県立勿来工業高等学校1年)

暴力団のいない社会づくり

小学生の部

最優秀 おそれるな みんなで排除 暴力団

優秀 ちいきから みんなで追い出せ 暴力団

優秀 暴力団 いない社会の 街づくり

佳作 ならぬことは ならぬぞ 暴力団

佳作 やめようよ 街にはいらない 暴力団

最優秀 暴力団 ことわる勇氣 大切に

優秀 僕たちは 暴力恐れず 立ち向かう

優秀 目指すのは 暴力団の いない社会

佳作 つくろうよ 暴力のない 安全な町

佳作 暴力団 そこにはいれば もどれない

中学生の部

高校生・一般の部

最優秀 暴力団 怯まず排除 地域の輪

飯野 凜花さん (喜多方市立第一小学校6年)

松下 結芽さん (棚倉町立近津小学校6年)

小濱 太一さん (棚倉町立近津小学校4年)

木伏ななはさん (会津若松市立一貫小学校3年)

庚塚 柊平さん (喜多方市立第一小学校6年)

佐藤 夏音さん (いわき市立磐崎中学校1年)

鈴木 恵吾さん (須賀川市立第一中学校2年)

三浦 煌博さん (須賀川市立第一中学校2年)

吉田 優菜さん (須賀川市立第一中学校2年)

松浦 陽斗さん (須賀川市立第一中学校2年)

岸本枇海斗さん (勿来工業高等学校1年)

《補導員の手記》

リアルな関係性を大切に

最近、少年がSNS上で知り合った相手に裸の画像を送ってしまうという事案が多く発生しています。

私は、学校で防犯教室や情報モラル教室の講話をする際、必ず「プライベートゾーン」について話をします。

「プライベートゾーン」とは、男女の身体のうち、性に関わる大切な場所で、水着で隠れる部分や口などをいいます。

その場所を、むやみやたらに他人に見せたり触らせたりしないこと、他人のを見たり触ったりしないこと、そして、画像や動画も同じであることについて注意喚起します。

私がこれまで関わった少年の中には、親子関係の不和から、SNS上で知り合った県外の異性の家に家出し、性被害に遭ってしまった少年や、SNS上で知り合った相手や同じ学校の生徒同士で、自分の裸の画像等を送り合ってしまった少年がいます。

一概には言えませんが、少年たちは保護者や友人との不和による寂しさ、怒り等の感情の捌け口、自尊心の低さや承認欲求が強く他人に認められたいとの思いから、SNS上につながりを求めるのではないかと思います。

優しい言葉や嬉しい言葉を掛けてくれる相手に、

福島県警察本部
少年女性安全対策課
県南少年サポートセンター
副主任少年警察補導員

坂本 晴香



警戒心も薄れ、自らプライベートゾーンの画像等を送信したり、性行為をしたりと性被害に遭ってしまっているのです。

そのときは自らの意思で行為をしていても、後々、後悔の念に駆られ、不安に襲われるなど、今もなお、心が傷ついたままの少年もいます。

後悔しないため、また、自分の体と心を守るためにも、プライベートゾーンを大切にしてほしいと思います。私は、少年が被害者や加害者にならないために、少年サポートセンターの業務である少年相談をはじめ、各種広報活動や街頭補導活動等、少年と接するあらゆる機会を捉えて、プライベートゾーンの説明やスマートフォン等の正しい使用方法、ストレス発散方法等をアドバイスし、また、その一方で少年の想いに耳を傾け、相談しやすい関係性を構築できるように努めています。

なぜなら私との関わりを通じて、少年達に、自分の周りにはリアルに相談できる人や場所があると気づいて欲しいからです。

私はこれからも、少年警察補導員として、また、ひとりの大人として、少年達に伝え続けていきます。

「インターネットやSNSのつながりだけじゃなく、リアルな関係性が大切だよ」と。

なりすまし詐欺の被害を防止するため、

「防犯対策電話録音機」

の普及を図っています。

県防連では、県民の方の要望を踏まえ、
貸出台数を増やしました。



➔ 貸出しに関するお問い合わせは、
県防連事務局 (024-573-0699)、
又は、各地区防犯協会(各警察署内)
まで連絡願います。お待ちしております。

福島県内では、依然として「なりすまし詐欺」の被害が多発しています。

公益社団法人福島県防犯協会連合会では、なりすまし詐欺の被害防止に一定の効果が認められる「防犯対策電話録音機」の貸出し事業を実施しております。

本事業は、令和3年から行っていますが、更に台数を増やし、一人暮らしの高齢者の方、高齢者だけの世帯など、被害に遭いやすい方に無償でお貸ししています。

是非、お試しください。

